

ネイティブ **E.coli** サルコシンオキシダーゼ

Cat. No. DIA-290

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 サルコシンをグリシンに脱メチル化する触媒である酸化還元酵素。お好みのクレアチニン試薬ミックスにサルコシンオキシダーゼを使用し、この製品の実績のある診断品質に依存してください。

用途 サルコシンオキシダーゼを用いてクレアチニンの測定のための診断テストを行います。これは次の2つの方法のいずれかを使用して行うことができます：(1) クレアチナーゼおよびクレアチニナーゼと組み合わせて。(2) クレアチニンデアミナーゼ、N-カルバモイルサルコシンアミダーゼおよびN-メチルヒダントインナーゼ (ATP加水分解) と組み合わせて。

別名 サルコシンオキシダーゼ; SAO

製品情報

由来 大腸菌

外形 黄色の凍結乾燥物

CAS登録番号 9029-22-5

分子量 40 kD

活性 22-40 U/mg 凍結乾燥物; >45 U/mg タンパク質

混入物 ATPase: <0.01 カタラーゼ: <10.0 汚染酸化酵素 (FOX): <0.005 クレアチナーゼ: <0.001 クレアチニナーゼ: <0.01 クレアチニン脱アミノ酵素: <0.001 N-カルバモイルサルコシンアミドヒドロラーゼ: <0.001 N-メチルヒダントイン酵素: <0.001

等電点 5.3

pH安定性 7.0-10.0

最適pH 8

熱安定性 +50°Cまで

ミカエリス定数 +25°Cで: 3.7×10^{-3} mol/l +37°Cで: 6.3×10^{-3} mol/l

特異性 サルコシンオキシダーゼは、サルコシン (100%)、N-エチルグリシン、2 mmol/l (4%)、L(-)-プロリン (0.28%)、カルバモイルサルコシン (0%)、およびグリシン (0%) と反応します。

阻害剤 ZnCl₂ (7 mmol/l)、CdCl₂ (7 mol/l)、重金属およびNa₃Nによって完全に抑制されません。クロロ酢酸アミン (0.2%) は抑制しません。

保管・発送情報

安定性 -15°Cから-25°Cの範囲内で12ヶ月間の仕入れ範囲内。乾燥した場所に保管してください。光から保護してください。